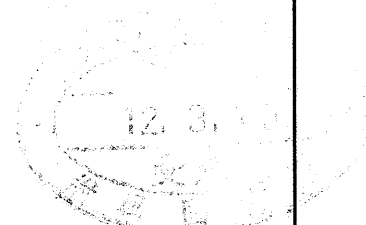


お茶の水女子大学学报

平成 12 年 1 月 1 日
お茶の水女子大学庶務課

目 次

◇学内規則	2
◎お茶の水女子大学学則の一部を改正する学則	2
◎お茶の水女子大学大学院学則の一部を改正する学則	3
◇人 事	4
◇諸 報	6
◎永年勤続者表彰	6
◎教育者表彰	7
◎研 修	8
◎海外渡航	10
◎奨学金授与式	12
◎淑明女子大学校総長の表敬訪問	13
◎健康診断	14
◎新ボイラー安全祈願及び火入れ式	15
◎レクリエーション行事	17
◎訃 報	18
◇日 誌	19



学内規則

○平成11年お茶の水女子大学規則第35号

お茶の水女子大学学則の一部を改正する学則を次のように定める。

平成11年12月15日

お茶の水女子大学長 佐藤 保

お茶の水女子大学学則の一部を改正する学則

お茶の水女子大学学則（昭和24年5月31日制定）の一部を次のように改正する。

別表（第13条関係）「免許状の種類」の項「文教育学部」の欄中「人間社会科学社会コース 小学校・幼稚園コース」の欄中

「

高等学校教諭一種免許状	地理歴史 公民
-------------	------------

を

「

高等学校教諭一種免許状	公民
-------------	----

に改める。」

附 則

この学則は、平成12年4月1日から施行し、平成12年度入学者から適用する。

○平成11年お茶の水女子大学規則第36号

お茶の水女子大学大学院学則の一部を改正する学則を次のように定める。

平成11年12月15日

お茶の水女子大学長 佐藤 保

お茶の水女子大学大学院学則の一部を改正する学則

お茶の水女子大学大学院学則（昭和38年4月24日制定）の一部を次のように改正する。

別表第2（第9条の3関係）の人文学専攻の表中

「|上演舞踊学実験実習|2|」を「|上演舞踊学実験演習|4|」に、

「|舞踊方法論実験実習|2|」を「|舞踊方法論実験演習|4|」に改める。

同別表の発達社会科学専攻〔発達人間科学系〕の表中

「|生涯臨床学特論演習|4|」の次に

臨床心理学特論	4	を加え、
発達臨床心理学研究法特論	2	
学校臨床心理学特論	4	
家族臨床心理学特論	4	
臨床心理査定演習	4	
臨床心理基礎実習	2	
臨床心理実習	2	

「|社会意識論演習|4|」の次に

社会福祉論	4
社会福祉論演習	4

」を加える。

附 則

この学則は、平成12年4月1日から施行し、平成12年度入学者から適用する。

人 事

○人事異動

発令年月日	氏 名	官 職 等	異 動 前 の 所 属 ・ 職 名
◇ 昇 任			
11. 11. 1 11. 12. 1	森光 康次郎 外館 良衛	助教授 (生活科学部) 講 師 (理 学 部)	助 手 (名古屋大学大学院生命農学研究科) 助 手 (理 学 部)
◇ 転 任			
11. 11. 15	近 藤 和 雄	教 授 (生活環境研究センター)	国立健康・栄養研究所臨床栄養部臨床栄養指導研究室長
◇ 休 職			
11. 12. 27	古 田 啓	休 職 期間 平成12年3月31日	助教授 (文教育学部)
◇ 退 職			
11. 12. 24	大 塚 恵	死 亡	助教授 (生活科学部)

◎非常勤講師

発令年月日	氏 名	官 職 等	任 期	備 考
◇ 採 用				
11. 11. 5	高山 真記子	講 師 (附属中学校)	11. 11. 30	
"	増 田 伸 江	" "	"	
11. 11. 15	橋 本 惇	" (理 学 部)	12. 3. 31	海洋科学技術センター研究主幹
"	本位田 真一	" "	"	(株)東芝研究開発センター参事
"	竹 永 啓 三	" (大学院人間文化研究科)	"	千葉県がんセンター研究所主任研究員
11. 12. 1	山 田 周 三	" (文教育学部)	"	東京都立大学助手
"	船 橋 邦 子	" (生活科学部)	"	大阪女子大学教授
"	坂 井 素 子	" "	"	放送大学学園助教授
"	園 田 眞 理 子	" "	"	明 治 大 学 講 師
"	石 井 川 昌 子	" (大学院人間文化研究科)	"	カリフォルニア大学準教授
"	板 倉 弘 重	" "	"	
11. 12. 27	佐藤 真理子	講 師 (研究機関研究員) (生活環境研究センター)	"	
"	米 田 千 恵	" "	"	
◇ 併 任				
11. 11. 15	石 野 史 敏	講 師 (理 学 部)	12. 3. 31	東京工業大学助教授
"	五 條 堀 孝 之	" "	"	国立遺伝学研究所教授
11. 12. 1	藤 村 宣 之	" (文教育学部)	"	埼玉大学助教授
◇ 退 職				
11. 12. 21	金 美 玉	講 師 (研究機関研究員) (生活環境研究センター)		

◎外国人研究員

発令年月日	氏名	官職等	任期	備考
◇ 契 約				
11. 11. 8	ウベロイ パトリシア ロビン	シニア-研究センター	12. 3. 31	

◎非常勤職員

発令年月日	氏名	官職等	任期	備考
◇ 採 用				
11. 11. 1	山田文子	教務補佐員 (生活科学部)	12. 3. 31	
11. 12. 1	野々村真規子	” (理学部)	”	
◇ 退 職				
11. 12. 20	伊藤恵理	事務補佐員 (会計課)		
11. 12. 31	萩原純子	” (学生課)		
”	東山成江	教務補佐員(理学部)(大学院人間文化研究科)		

諸 報

○永年勤続者表彰について

平成11年度永年勤続者表彰式が平成11年11月22日大学会議室で行われ、被表彰者には、表彰状並びに記念品が授与されました。

被表彰者は次のとおりです。

学長表彰者

文 教 育 学 部	高 島 元 洋
" "	小 風 秀 雅
" "	西 尾 道 子
理 学 部	菅 本 晶 夫
生 活 科 学 部	松 浦 秀 治
ジェンダー研究センター	原 ひろ子
附属高等学校	荻 原 万 紀 子
" "	石 井 朋 子
" "	古 山 泉
附 属 小 学 校	相 原 貴 史
附 属 幼 稚 園	吉 岡 晶 子
庶 務 課	前 田 理 知 子
会 計 課	羽 根 ひろの

文部大臣表彰者

理 学 部	高 野 佳 征
-------	---------



○教育者表彰について

多年教育者として精励し、よくその成果をあげ、教育の振興に寄与しているとして
附属中学校 井上 泰次 教頭が平成11年11月29日文部大臣表彰されました。

○研 修

名 称	実施日時	対 象 者	修 了 者	主 催
第34回関東甲信越地区国立大学等 会計事務職員研修会	平成11年11月8日 ～ 11月12日	現在、会計事務に従事し、 かつ1年以上の会計事務の経 験を有する者	会計課・総務・管 財係 本橋 直美 会計課・出納係 石井 文弘	文部省及び 宇都宮大学
平成11年度 六大学等事務系中堅職員研修 (東京医科歯科大学、東京外国語大 学、東京芸術大学、東京商船大学 、東京水産大学、お茶の水女子大 学及び学術情報センター)	平成11年11月8日 ～ 11月10日	六大学等の職員で、実施時 期にⅢ種採用でおおむね8年 の経験、Ⅱ種採用でおおむね 3年の経験を有する事務系職 員並びにこれらと同等と認め られた者	庶務課・企画法規 係 池野 房子 庶務課・人事係 伊藤 武 庶務課・人事係 深川 太郎 会計課・用度係 渡辺 信子 附属図書館・情報 システム係 鈴木 直子	東京医科歯科大 学
平成11年度六大学等監督者研修 (JST基本コース) (東京医科歯科大学、東京外国語大 学、東京芸術大学、東京商船大学 、東京水産大学、お茶の水女子大 学及び学術情報センター)	平成11年11月10日 ～ 11月12日	原則として55歳以下の専門 職員及び係長	庶務課・附属学校 係長 滝本 照子 施設課・工営第二 係長 神田 浩美	東京商船大学

名 称	実施日時	対 象 者	修 了 者	主 催
平成11年度文部省施設担当係長 研修会	平成11年11月15日 ～ 11月19日	各国立大学、各大学共同利 用機関等、文部省各施設等機 関、文化庁各施設等機関及び 文部省本省において、平成10 年10月2日以降平成11年10月 1日までに国立学校等の施設 整備に従事する新任の係長（ 専門職員を含む）となった者	施設課・企画係長 西原 敏雄 施設課・工営第二 係長 神田 浩美	文部省
平成11年度厚生補導事務研修会	平成11年11月17日 ～ 11月19日	国立大学で教務事務に従事 する課長補佐、専門員、係長 又は主任	学務課・課長補佐 中野 公敏	文部省
平成11年度人事事務研修	平成11年12月1日 ～ 12月10日	ア 人事事務を3年以上担当 している主任又は一般職員 イ 行政職（一）2級以上の 者 ウ 原則として年齢25歳以上 35歳以下で、この研修の未 受講者 エ 勤務成績が優秀な者	庶務課・人事係 伊藤 武	文部省

○海外渡航

所属・職名	氏名	渡航先国	渡航目的	期間	渡航種目
生活科学部 ・教授	袖井孝子	大韓民国	厚生省「生涯にわたる女性の健康に関する調査」の打合せ及び国際社会福祉セミナーに出席	11. 11. 2～ 11. 11. 4	海外研修
理学部・助教授	林正男	アメリカ合衆国	バイオサイエンス動向の調査研究	11. 11. 4～ 11. 11. 17	外国出張
附属中学校 ・教諭	佐々木和枝	タイ王国・ 連合王国・ アメリカ合衆国・ カナダ	平成11年度国立大学・学部附属学校等教官海外派遣	11. 11. 6～ 11. 11. 30	外国出張
人間文化研究科 ・教授	牧野カツコ	アメリカ合衆国	全米家族関係学協会第61回年次大会に出席及び研究発表	11. 11. 11～ 11. 11. 16	海外研修
人間文化研究科 ・助手	竹島由里子	アメリカ合衆国	IEEE Super Computing 99 国際会議に参加	11. 11. 12～ 11. 11. 20	海外研修
文教育学部 ・教授	三浦徹	アメリカ合衆国	北米中東学会における研究発表及び研究連絡	11. 11. 19～ 11. 11. 25	海外研修
理学部・教授	細矢治夫	台湾	第8回アジア化学会議で招待講演	11. 11. 20～ 11. 11. 25	外国出張
文教育学部 ・助教授	村田真弓	フランス共和国	学会出席及び資料収集	11. 11. 22～ 11. 11. 28	海外研修
人間文化研究科 ・助手	穴山朝子	ドイツ連邦共和国	ベルリン連邦文書館における史料調査及び現地アーキビストとの研究打合せ	11. 11. 22～ 11. 12. 1	外国出張
理学部・助手	宮本泰則	アメリカ合衆国	第39回アメリカ細胞生物学会大会に出席及び研究情報の資料収集	11. 12. 9～ 11. 12. 17	外国出張
理学部・助教授	武部尚志	ロシア共和国	共形場理論の可積分系への応用の研究実施	11. 12. 11～ 12. 1. 12 (帰国予定)	外国出張
理学部・教授	増永良文	アメリカ合衆国	高速データマイニングの研究調査	11. 12. 14～ 11. 12. 19	外国出張
文教育学部 ・教授	窪添慶文	台湾	中国史に関わる国際学術討論会に出席及び台湾大学において研究打合せ	11. 12. 15～ 11. 12. 21	海外研修
人間文化研究科 ・教授	長友和彦	台湾	日本研究国際会議に出席	11. 12. 16～ 11. 12. 20	海外研修

所属・職名	氏名	渡航先国	渡航目的	期間	渡航種目
人間文化研究科 ・助教授	出口哲生	アメリカ合衆国	液体不安定性の非線形解析	11. 12. 17～ 12. 1. 12 (帰国予定)	外国出張
人間文化研究科 ・助手	胡 潔	中華人民共和国	資料調査	11. 12. 17～ 12. 1. 13 (帰国予定)	海外研修
ジェンダー研究 センター・教授	川嶋 瑤子	アメリカ合衆国	「大学教育とジェンダー」研究プロジェクトの推進	11. 12. 18～ 12. 1. 4 (帰国予定)	海外研修
文教育学部 ・教授	徳丸吉彦	ベルギー王国	ベルギー音楽調査	11. 12. 29～ 12. 1. 5 (帰国予定)	海外研修
理学部・講師	外館良衛	連合王国	日英科学技術協力事業による新型中性子分光器の共同開発研究	11. 11. 30～ 11. 12. 13 (期間変更)	外国出張

○奨学金授与式

平成11年度奨学金授与式が11月16日(火) 大会議室(生活科学部本館2階)で行われた。授与式には、保井・黒田奨学金にご寄附を頂いた先生方のうち能林唯子名誉教授が、また、池田摩耶子記念奨学金及び池田重記念奨学金にご寄附を頂いた池田路子様がご出席され、当該奨学金を受賞者に直接手渡された。

奨学金受賞者

*保井・黒田奨学金受賞者(2名)

第54号 早瀬 友美乃

研究題目：「非平衡開放系におけるパターン形成」

第55号 佐藤 あやの

研究題目：「細胞におけるアネキシンとプロテオグリカンの役割解明」

*食物学奨学金受賞者(1名)

第61号 米田 千恵

研究題目：「水生無脊椎動物のコラーゲンに関する食品生化学的研究」

*被服学奨学金受賞者(3名)

第59号 大山 秀子

研究題目：「高分子の表面と界面に関する研究」

第60号 青木 もゆる

研究題目：「江戸時代のかぶりものに関する研究」

第61号 和田 早苗

研究題目：「平安時代の和歌における服飾表現」

*家庭経営学奨学金受賞者(2名)

第46号 近藤 恵

研究題目：「人類の歴史に関する年代学的研究」

第47号 平野 順子

研究題目：「高齢者の Quality of Life (QOL)に関する研究」

*人間文化研究所奨学金受賞者(1名)

第29号 リズワングル イブライム

研究題目：「Tetra-aza Macrocyclic Containing 2,2'-Bipyridine and Its Metal Complexes: Synthesis and Solvatochromic Properties」
(2,2'-ビピリジンを含む大環状化合物とその金属錯体の合成及び溶媒による可逆的色変化)

*池田摩耶子記念奨学金受賞者(1名)

第42号 于 紅

研究題目：「1920年代における幣原外交の展開と日中関係」

*池田重記念奨学金受賞者(2名)

第11号 暢 素梅

研究題目：「論語の受容を通して見た東アジア世界
—日本を中心として—」

第12号 丁 海燕

研究題目：「1パラメーター関数族の分岐現象の研究」



○韓国 淑明女子大学校総長の表敬訪問

韓国淑明女子大学校李慶淑総長が、11月30日（火）に佐藤学長を表敬訪問した。

李慶淑総長は、女子教育に貢献する本学の実状について佐藤学長と懇談した後、歴史資料室を視察した。



○健康診断

事 項	実 施 日 時	対 象 者	受診者数	実 施 場 所
職員定期健康診断 (第2回)	平成11年11月16日(火)	第1回に受診できなかった者。ただし、人間ドック受診者及び遠隔地勤務者を除く。	11人	保健管理センター
遠隔地勤務者健康診断	平成11年11月18日(木)	志賀高原体育運動場勤務者。ただし人間ドック受診者を除く。	2人	長野県北信保健所
V D T 検 診	平成11年12月15日(水)	VDT (コンピュータの端末装置、パソコン、ワープロ等) 作業従事職員で、特に必要と認めた者。	37人	本部棟第二会議室

○新しい暖房設備（新ボイラー）の安全祈願及び火入れ式が挙行される

平成10年度の補正事業で、かねてより施設課で進められていた、「基幹整備（暖房設備）工事が、本年11月末に完成のはこびとなり、当該工事で設置された新ボイラーの安全祈願及び火入れ式が、設置場所である理学部3号館地下のボイラー室で、11月29日午前11時よりしめやかに行われた。

当日は、佐藤学長、福田学長補佐はじめ、各部局長や、学内の課長、事務長、工事を施工した日比谷総合設備（株）、運転を担当する（株）太平エンジニアリングの担当者等25名の出席を得て、施設課課長補佐の司会進行により進められた。

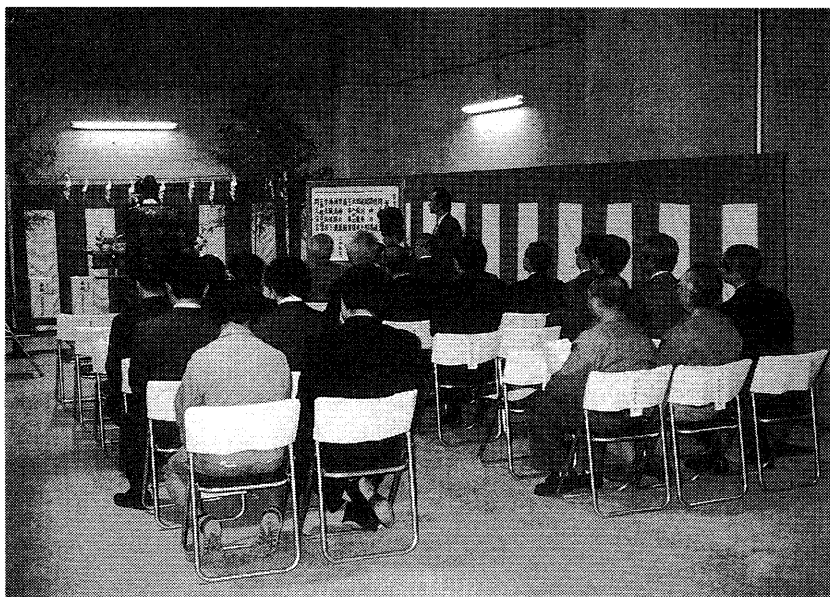
式は、湯島天神の神職による神事後、学長による火入れの儀、代表者による玉串奉奠と続き、学長による挨拶、施設課長による工事概要報告が行われ、参列者一同、今後のボイラー設備の安全運転を祈願して、約45分で散会となった。

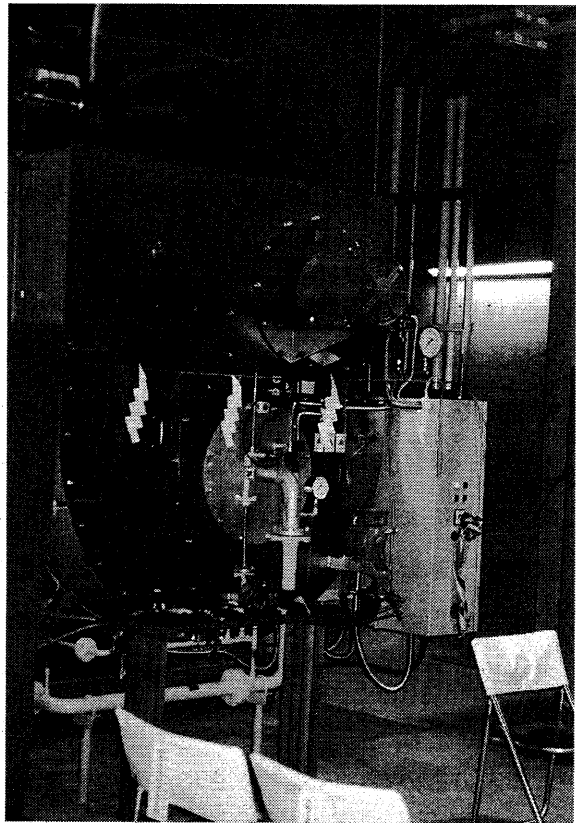
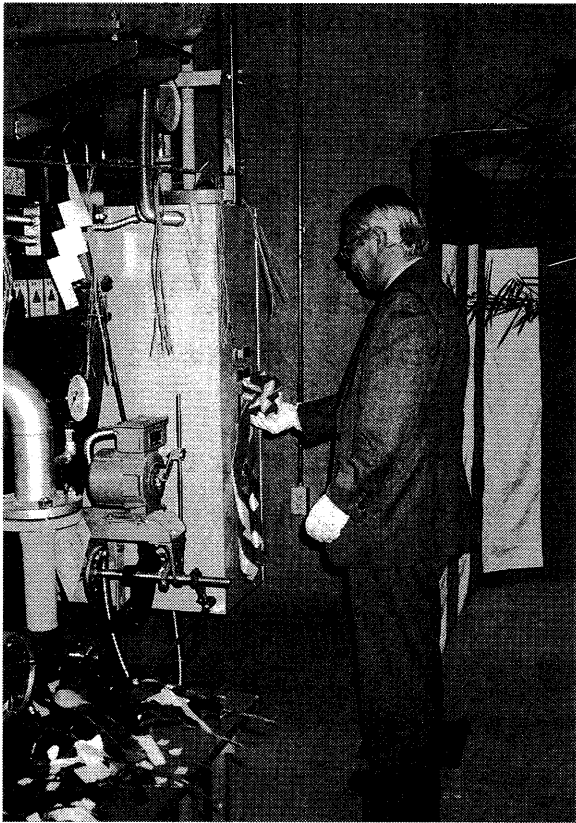
施設課長の工事概要報告によると、当該ボイラーは、生活科学部裏にあった旧ボイラー室の重油炊きボイラーが老朽化した為の更新で、都市ガス炊きによる4トンボイラー3台が、本学のエネルギーセンターとなる理学部3号館の地下に設置されたものである。

在来のものが、A重油炊きによる8トン2台、4トン1台のものに対して、都市ガス炊きの4トン3台となり、排気ガスの面からも地球環境に優しいものとなっている。

暖房供給部分は、本部管理棟などの個別空調を行っている建物以外の、学内の全ての建物に、平成8年度に竣工した共同溝を使って送られている。

これにより、本年12月からは、新しいボイラー設備からの暖房となる。





○レクリエーション行事

『ミュージカル鑑賞』

去る、11月3日(水)・7日(日)・12日(金)・23日(火)に四季劇場(春)において、ミュージカル鑑賞が行われました。

このレクリエーション行事には、40名が参加し、劇団四季のミュージカル『ライオンキング』を鑑賞しました。

『歌舞伎鑑賞』

去る、12月11日(土)・12日(日)・19日(日)・23日(木)に国立劇場において、歌舞伎鑑賞が行われました。

このレクリエーション行事には、40名が参加し、「義経千本桜(よしかねせんぼんざくら)・手習子(てならいこ)・芝浜革財布(しばはかざいふ)」を鑑賞しました。

○訃 報

大 塚 惠 生活科学部助教授

大塚 惠氏には病気のため平成11年12月24日逝去されました。享年46才。
ここに謹んで哀悼の意を表します。

生年月日	昭和28年2月20日生
略 歴	昭和50年3月 お茶の水女子大学家政学部食物学科卒業
	昭和55年3月 お茶の水女子大学大学院家政学研究科修了
	昭和59年9月 お茶の水女子大学大学院人間文化研究科単位取得退学
	昭和59年10月 お茶の水女子大学大学院人間文化研究科助手
	昭和60年3月 学術博士（お茶の水女子大学）
	昭和62年4月 米国食品医薬品局客員研究員
	昭和63年4月 お茶の水女子大学家政学部講師
	平成3年5月 お茶の水女子大学家政学部助教授
	平成4年10月 お茶の水女子大学生生活科学部助教授
	平成11年12月 逝 去

研究業績

学生時代より栄養学を志し、一貫して「食物中のビタミンCの生理作用」について研究を続けてきた。人間文化研究科博士課程修了直後に「Esso 女性のための研究奨励賞」を受賞した。米国FDAへの留学後は脂質代謝、食物繊維、変異原物質など、食生活に関わる諸問題に研究の幅を広げ、日本家政学会、日本栄養食糧学会等で活躍した。特にフードサイエンスフォーラムでは中心的な役割を果たし、国際会議の運営に実行委員として貢献した。学内では各国からの留学生の育成に力を尽くし、その熱心な指導により多くの学生から慕われていた。栄養学界をこれから担っていくという時期の逝去であった。

日 誌

- | | |
|---|--|
| <p>11月1日(月) 推薦入学試験出願受付開始(～5日)
課長会議</p> <p>2日(火) 今後のお茶の水女子大学のあり方に関する検討会</p> <p>4日(木) 理学部PR委員会
教職課程専門委員会</p> <p>5日(金) 徽音祭前夜祭
事務組織の在り方に関する検討専門部会</p> <p>6日(土) 徽音祭</p> <p>7日(日) 徽音祭</p> <p>8日(月) 文教育学部第3年次編入学試験願書受付(～12日)</p> <p>9日(火) 自己点検・評価検討委員会
文教育学部入試方法検討委員会</p> <p>10日(水) 生活科学部第3年次編入学試験第一次選考
附属幼稚園入園出願受付
就職ガイダンス
人間文化研究科後期専攻会議</p> <p>11日(木) 附属幼稚園入園第一次検定(抽選)
カリキュラム委員会</p> <p>12日(金) 附属幼稚園入園第二次検定(受付)
公開教育研究会(附属高等学校)
留学生健康診断
学生委員会</p> <p>15日(月) 附属幼稚園第二次入園検定(～18日)
運営協議</p> <p>16日(火) 奨学金授与式
職員一般定期健康診断
部局長会議
施設計画委員会
主任会議</p> <p>17日(水) 人間文化研究科長選挙
就職ガイダンス
教授会
人間文化研究科前期専攻会議</p> <p>19日(金) 附属幼稚園合格発表
ジェンダー研究センター自己点検・評価委員会</p> <p>22日(月) 学長表彰式
部局長会議
永年勤続者表彰式</p> <p>24日(水) 附属小学校願書受付</p> | <p>グアテマラ地方教育行政コース研修員訪問
代議員会
就職ガイダンス
評議会</p> <p>25日(木) 紀要(自然科学報告)編集委員会
今後のお茶の水女子大学のあり方に関する検討会</p> <p>26日(金) 物理と化学に関する学科及び専攻の外部評価(～27日)
事務情報化専門部会
事務連絡協議会
附属学校教育研究委員会</p> <p>29日(月) 創立記念日
文教育学部第3年次編入学試験第一次選考
帰国子女特別選抜第二次選考(理学部)
推薦入学試験第二次選考(全学部)
暖房(ボイラー)設備の安全祈願及び火入れ式</p> <p>30日(火) 韓国淑明女子大学校総長表敬訪問
推薦入学試験第二次選考(文教)</p> <p>12月1日(水) 生活科学部第3年次編入学試験第二次選考
就職ガイダンス
FD講演会
FDワーキンググループ
課長会議</p> <p>2日(木) 入学者選抜方法研究委員会</p> <p>3日(金) 厚生補導・教務関係担当教職員研究協議会(～4日)(於: 国立中央青年の家)</p> <p>6日(月) 運営協議</p> <p>7日(火) 自己点検・評価検討委員会
部局長会議
主任会議</p> <p>8日(水) 就職ガイダンス
教授会
人間文化研究科前期専攻会議
お茶の水女子大学施設実地監査(～10日)</p> <p>9日(木) 推薦入学・帰国子女・生活科学部第3年次編入学合格発表</p> |
|---|--|

- ジェンダー研究センター自己点検・
評価委員会
- 10日（金）「お茶の水女子大学の現状と課題」
懇談会（於：茗溪会館）
ジェンダー研究センター自己点検・
評価委員会
- 13日（月）今後のお茶の水女子大学のあり方に
関する検討会
教育実習専門委員会
- 14日（火）ジェンダー研究センター運営委員会
附属学校委員会
国際交流委員会
部局長会議
入試委員会
- 15日（水）附属小学校第一次検定（抽選）
VDT検診
評議会
人間文化研究科後期専攻会議
生活環境研究センター運営委員会
- 16日（木）附属小学校第二次検定（～17日）
文教育学部第3年次編入学試験第2
次選考
- 17日（金）理学部PR委員会
事務連絡協議会
ホームページ運営委員会
拡大主任会議（文教育学部）
- 18日（土）附属小学校合格発表
- 20日（月）文教育学部第3年次編入学試験合格
発表
共通機器センター運営委員会
留学生専門委員会
附属幼稚園2学期終業式
- 22日（水）附属学校長候補者選考委員会
FDワーキンググループ
代議員会
附属高等学校2学期終業式
- 24日（金）学部推薦入学試験入学手続
学部帰国子女特別選抜試験入学手続
理学部第3年次編入学試験入学手続
生活科学部第3年次編入学試験入学
手続
附属学校教育研究委員会
冬期休業始
附属中学校・小学校2学期終業式
- 27日（月）臨時主任会議（理学部）
臨時拡大部局長会議
部局長会議
- 28日（火）御用納